

発達障がい児等支援に係るアンケート調査について

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

1 要旨

発達障がい児・者等については、早期発見・早期支援や、ライフステージに応じた切れ目のない支援が求められている中で、本県では、18歳未満の児に係る初診待機期間の長期化や、待機期間中に適切な支援に繋がっていないことが課題となっている。

協議会においても、早期の診断やその後の療育の充実を目的に、発達障がい児等の保護者並びに医療機関を対象としたアンケート調査を実施することとした。

2 アンケート調査実施に向けた検討

(1) これまでの経緯

令和元年度開催の協議会において、かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修について、現状の調査をしたうえでのニーズ把握をしてほしいとの意見が挙げられた。

さらに、一時待機の原因を把握し、発達障がい児等の待機期間長期化の解消に向けた施策が必要ではないかとの意見も挙げられ、アンケート調査を実施する運びとなる。

令和2年度開催の協議会において、アンケート実施に向けた検討を重ね、発達障がい児の保護者及び医療機関宛てに調査を実施することとした。

令和3年3月末、県の医師会と協働して全医療機関への調査実施。また、保護者へのアンケートについては、JDDnet いわてを通じ、家族団体から周知していただく形で協力を依頼した。

なお、保護者あてアンケートについては調査依頼文の一部送付漏れがあり、現在、再調査を実施している。

3 実施結果

- 別添資料 No. 3-2、資料 No. 3-3 のとおり。